



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エンプラス

コード番号 6961 URL <https://www.enplas.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼経営執行役員 (氏名) 藤田 慈也 TEL 03-6268-0259
財務経理本部 本部長

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無： 有

決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	28,805	3.0	4,084	14.9	4,310	11.3	2,872	25.8
2024年3月期第3四半期	27,954	△13.4	3,554	△49.7	3,871	△44.3	2,284	△37.2

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 4,183百万円 (21.3%) 2024年3月期第3四半期 3,447百万円 (△30.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	325.21	320.24
2024年3月期第3四半期	258.78	254.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	62,931	56,376	88.1	6,273.96
2024年3月期	60,028	52,667	86.3	5,869.59

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 55,431百万円 2024年3月期 51,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	30.00	-	30.00	60.00
2025年3月期	-	30.00	-		
2025年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	0.5	5,100	9.8	5,500	4.5	3,600	4.5	407.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想につきましては、本日（2025年1月31日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	9,732,897株	2024年3月期	9,732,897株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	897,782株	2024年3月期	904,376株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	8,832,460株	2024年3月期3Q	8,826,175株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3 「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2025年1月31日（金）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、インフレ減速に伴う購買力の回復などを背景に景気の緩やかな改善が見られる一方で中国経済の停滞継続、世界的な政情不安や地政学リスクの高まり等により先行きの不透明な状況が続いております。

米国においては、個人消費や設備投資等の好調を背景に景気は底堅く推移しました。

中国においては、輸出は堅調に推移した一方で、不動産不況や対中直接投資の大幅な減少による景気減速が続いております。

わが国経済は、継続する物価上昇により一部で個人消費の足踏みが見られるものの、雇用・所得環境の改善、企業の堅調な設備投資や輸出増加を背景に緩やかに回復しております。

このような状況の中、当社グループが関連する市場においては、世界経済の減速や半導体需要の調整の長期化など、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

当社グループは持続的な成長の実現のために、成長市場であり人と地球のQOL（クオリティ・オブ・ライフ）を高める領域をEssential領域と定め、この領域への事業ポートフォリオの転換を進めてまいります。また当社グループの独創的アイデアと総合技術により、最終顧客まで見据えた課題解決を実現し、多様化する顧客ニーズに対して新たな価値を提供してまいります。さらに不連続な変化が続く時代において、持続的な成長を実現するために当社グループの重要な経営基盤である人材への投資を積極的に進めてまいります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は28,805百万円（前年同期比3.0%増）となり、営業利益は4,084百万円（前年同期比14.9%増）、経常利益は4,310百万円（前年同期比11.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,872百万円（前年同期比25.8%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載のとおり、当連結会計年度より、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。以下の前年同期比較については、変更後の算定方法により組み替えた数値で比較分析しております。

「Semiconductor事業」

各種ICテスト用ソケット、バーンインソケットは、サーバー用途および自動車用途で市場の落ち込みが継続し、売上高は低調に推移しました。半導体需要の調整は、当初想定より長引いているものの、特に当社が注力しているサーバーや自動車用途の需要は中期的には増加傾向が続くと予想され、さらに競争力を高めるためのソリューション開発を積極的に進めております。また将来の成長に向けたテスト用ソケットの技術開発にも注力してまいります。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,986百万円（前年同期比1.0%減）、セグメント営業利益は1,109百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

「Life Science事業」

遺伝子検査用製品は、一部既存顧客からの受注の増加および新規量産品の立ち上げにより売上高は好調に推移しました。引き続きコスト構造の見直しによる収益性の改善を進めてまいります。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,109百万円（前年同期比13.8%増）、セグメント営業利益は126百万円（前年同期は427百万円のセグメント営業損失）となりました。

「Digital Communication事業」

光通信関連の光学デバイスは、AI用途等のハイエンド領域において顧客の次世代製品への移行を踏まえた在庫調整等の継続により、売上高は低調に推移しました。今後の通信の高速化と市場拡大に向けた次世代製品の開発を進めております。LED用拡散レンズは、液晶テレビ市場の需要減少が継続し、売上高は低調に推移しました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,109百万円（前年同期比6.5%減）、セグメント営業利益は2,221百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

「Energy Saving Solution事業」

自動車用部品は、自動車市場が低調に推移したものの、当社が注力する自動車の電装化に対応した低騒音・高効率ギヤソリューションビジネスによる非日系顧客の新規獲得などにより売上高は堅調に推移しました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,599百万円（前年同期比10.5%増）、セグメント営業利益は625百万円（前年同期比21.1%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は62,931百万円となり、前連結会計年度末比2,903百万円の増加となりました。

流動資産につきましては891百万円減少しました。主な変動要因は製品で273百万円増加したものの、現金及び預金で800百万円、受取手形及び売掛金で356百万円減少したことによるものです。

固定資産につきましては3,794百万円増加しました。主な変動要因は有形固定資産で3,713百万円増加したことによるものです。

負債は6,555百万円となり、前連結会計年度末比805百万円の減少となりました。

流動負債につきましては656百万円減少しました。主な変動要因は未払法人税等で405百万円、未払金で311百万円減少したことによるものです。

固定負債につきましては148百万円減少しました。主な変動要因はリース債務で184百万円減少したことによるものです。

純資産は56,376百万円となり、前連結会計年度末比3,708百万円の増加となりました。主な変動要因は利益剰余金で2,342百万円、為替換算調整勘定で1,119百万円増加したことによるものです。

その結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は88.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年7月31日に公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2025年1月31日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,788	23,988
受取手形及び売掛金	9,712	9,356
製品	1,119	1,393
仕掛品	694	808
原材料及び貯蔵品	2,050	1,958
未収消費税等	965	1,008
未収還付法人税等	201	149
その他	903	891
貸倒引当金	△9	△18
流動資産合計	40,427	39,535
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,150	4,022
機械装置及び運搬具（純額）	2,586	2,776
工具、器具及び備品（純額）	1,335	1,374
土地	6,875	6,889
使用権資産（純額）	1,724	1,549
建設仮勘定	900	4,674
有形固定資産合計	17,573	21,287
無形固定資産		
ソフトウェア	150	133
その他	63	140
無形固定資産合計	214	274
投資その他の資産	1,812	1,834
固定資産合計	19,601	23,396
資産合計	60,028	62,931

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,311	1,391
リース債務	352	375
未払金	1,165	854
未払費用	622	620
未払法人税等	844	439
契約負債	156	180
賞与引当金	740	503
転貸損失引当金	29	30
役員賞与引当金	88	98
その他	367	528
流動負債合計	5,679	5,022
固定負債		
リース債務	1,373	1,188
退職給付に係る負債	90	111
繰延税金負債	35	65
転貸損失引当金	36	15
その他	146	152
固定負債合計	1,681	1,533
負債合計	7,361	6,555
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,080	8,080
資本剰余金	2,013	2,042
利益剰余金	39,096	41,439
自己株式	△3,257	△3,233
株主資本合計	45,933	48,328
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	286	383
為替換算調整勘定	5,599	6,718
その他の包括利益累計額合計	5,886	7,102
新株予約権	120	164
非支配株主持分	727	780
純資産合計	52,667	56,376
負債純資産合計	60,028	62,931

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	27,954	28,805
売上原価	15,078	15,505
売上総利益	12,875	13,300
販売費及び一般管理費	9,320	9,216
営業利益	3,554	4,084
営業外収益		
受取利息	214	334
受取配当金	16	20
為替差益	105	—
スクラップ売却益	45	63
その他	49	24
営業外収益合計	430	442
営業外費用		
支払利息	56	59
支払補償費	44	15
為替差損	—	121
その他	13	19
営業外費用合計	114	216
経常利益	3,871	4,310
特別利益		
固定資産売却益	41	21
投資有価証券売却益	8	2
受取補償金	—	44
その他	0	1
特別利益合計	50	70
特別損失		
固定資産売却損	6	17
訴訟関連損失	73	—
災害損失引当金繰入額	101	—
事業再構築費用	104	233
貸倒引当金繰入額	162	—
特別損失合計	448	250
税金等調整前四半期純利益	3,473	4,130
法人税、住民税及び事業税	1,243	1,076
法人税等調整額	△98	103
法人税等合計	1,144	1,180
四半期純利益	2,328	2,949
非支配株主に帰属する四半期純利益	44	77
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,284	2,872

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	2,328	2,949
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	87	97
為替換算調整勘定	1,031	1,135
その他の包括利益合計	1,119	1,233
四半期包括利益	3,447	4,183
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,367	4,089
非支配株主に係る四半期包括利益	80	93

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	Semiconductor 事業	Life Science 事業	Digital Communication 事業	Energy Saving Solution 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	12,110	1,853	4,397	9,592	27,954
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,110	1,853	4,397	9,592	27,954
セグメント利益又は損失 (△)	1,125	△427	2,340	516	3,554

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	Semiconductor 事業	Life Science 事業	Digital Communication 事業	Energy Saving Solution 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	11,986	2,109	4,109	10,599	28,805
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,986	2,109	4,109	10,599	28,805
セグメント利益	1,109	126	2,221	625	4,084

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、報告セグメントの業績をより適切に反映させるため、研究開発費の配賦基準を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

当該変更により、従来の方法に比べて当第3四半期連結累計期間の「Semiconductor事業」のセグメント利益は216百万円減少、「Life Science事業」のセグメント利益は482百万円増加、「Digital Communication事業」のセグメント利益は74百万円減少、「Energy Saving Solution事業」のセグメント利益は191百万円減少しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の算定方法に基づき作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,678百万円	1,793百万円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。